時の経過による調整額	512,940	64,836	577,776
資産除去債務の履行による減少額	—	—	—
期末残高	38,400,964	16,464,002	54,864,966

（損益計算書に係る注記）

１．当期総利益のうち、法人移行時における固有の会計処理等に起因するもの　（単位：円）

①　国からの承継時において、附属病院の建物、構築物等の時価評価等により、借入金見合いの資産の額が、当該借入金に係る債務負担額を下回っていたこと等によるもの

附属病院に関する借入金の元金償還額	1,370,737,484
当該借入金により取得した資産の減価償却費	1,272,005,053
当期総利益に与える影響額（差引き）	98,732,431

②　国立大学法人等が獲得した附属病院収益と診療機器等に係る減価償却費見合いの収益化額が二重になっていることによるもの

法人移行時に国から承継した資産について承継時に負債として計上していた額のうち、資産の減価償却費が診療経費に分類されるものに関する当該負債の収益化額　—

98,732,431

（キャッシュ・フロー計算書に係る注記）　（単位：円）

１．資金の期末残高の貸借対照表科目別の内訳

現金及び預金	9,237,626,246
内、定期預金（控除）	△ 6,300,000,000
資金期末残高	2,937,626,246

２．重要な非資金取引

⑴　現物寄附の受入による資産の取得

工具器具備品等	42,036,902
図　　書	4,398,827
計	46,435,729

⑵　現物寄附の受入による少額備品等の取得

備　品　費　等	55,203,810
計	55,203,810

⑶　ファイナンス・リース等による資産の取得

工具器具備品	314,783,267
計	314,783,267

（国立大学法人等の業務運営に関する国民の負担に帰せられるコストの注記）　（単位：円）

Ⅰ　業務費用		
⑴　損益計算書上の費用	45,547,404,244	
⑵　（控除）自己収入等	△ 33,022,549,863	
業務費用合計		12,524,854,381
Ⅱ　資本剰余金を減額したコスト等		1,213,389,951
Ⅲ　機会費用		
国又は地方公共団体の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用	31,973,205	
政府出資の機会費用	657,322,697	
無利子又は通常よりも有利な条件による融資取引の機会費用	299,551,882	988,847,784
Ⅳ　（控除）国庫納付額		—
Ⅴ　国立大学法人等の業務運営に関して国民の負担に帰せられるコスト		14,727,092,116

㈱　国立大学法人等の業務運営に関して国民の負担に帰せられるコストの注記における機会費用の計上方法

⑴　国等の財産の無償又は減額された使用料による賃貸借取引の機会費用の計算方法

土地については、近隣の賃貸借料、香川県及び坂出市の条例等に定められた使用料を参考に計算している。

物品については、年間減価償却費相当額を参考に計算している。

⑵　政府出資等の機会費用の計算に使用した利率

「国立大学法人等の業務運営に関して国民の負担に帰せられるコストの注記における機会費用の算定に係る利回りについて（通知）」（令和８年４月10日付け８文科高第46号）に基づき2.345％で計算している。

⑶　国等からの無利子又は通常よりも有利な条件による融資取引の機会費用の計算に使用した利率

「国立大学法人等の業務運営に関して国民の負担に帰せられるコストの注記における機会費用の算定に係る利回りについて（通知）」（令和８年４月10日付け８文科高第46号）に基づき2.345％で計算している。

（金融商品の時価等に係る注記）

１．金融商品の状況に関する事項

当法人は、資金運用については預金で運用し、資金調達については大学改革支援・学位授与機構からの借入れで行っている。また、未収附属病院収入は、債権管理細則に沿ってリスク管理を行っている。

大学改革支援・学位授与機構債務負担金及び長期借入金の使途は附属病院の整備資金であり、文部科学大臣の事前承認に基づいて借入れを実施している。

２．金融商品の時価等に関する事項

期末日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりである。

なお、時価等の把握が極めて困難と思われる市場価格のない株式等（貸借対照表計上額7,145,115円）は、次表には含めていない。また、現金及び重要性の乏しい科目については注記を省略しており、預金、未収入金、未払金は短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似することから、記載を省略している。　（単位：円）

	貸借対照表計上額（＊１）	時価（＊１）	差額（＊１）
⑴　投資有価証券			
①　満期保有目的の債券	1,400,000,000	1,252,003,000	△147,997,000
⑵　大学改革支援・学位授与機構債務負担金（＊２）	(76,728,508)	(75,743,226)	(△985,282)
⑶　長期借入金（＊２）	(16,675,722,000)	(16,316,586,210)	(△359,135,790)
⑷　長期未払金	(1,602,188,436)	(1,648,290,665)	(46,102,229)

（＊１）　負債に計上されているものについては、（　）で示している。

（＊２）　一年以内返済予定額を含んでいる。